

\*\*\*\*\*  
開講科目名：国際政治学研究（B）（2単位）  
開設年次：1年 2年  
開設学部：法学研究科修士課程法学専攻  
担当者：定形 衛  
\*\*\*\*\*

《授業の概要》

【授業の目標】

本授業では「国際政治のなかにおける日本」、および「日本における国際政治」をテーマにして、近代以降から現代にいたる国際政治の変容と実態を具体的課題に即して考察していくことにする。また、今日の国際社会において日本が果たすべき役割を検討すべく、これまでの日本外交の諸問題を批判的に再考するとともに、グローバル化時代の国際政治における日本のあらたな位置づけについても議論したい。

【授業の概要】

近代以降日本は欧米列強の指導する国際政治への参入を急ぎ、アジア諸国とともにある日本という意識を歪曲した形で外交を営んできた感が強い。日本が本来の位置をアジアのなかで見つめ直し、今日の国際社会のなかで果たすべき使命をいかに自覚し遂行していくかが今後の国際社会のありようを展望するうえで欠かすことのできない課題である。授業では近代以降の日本外交の歴史を踏まえつつ、現在の外交的課題といかに格闘していくべきかを具体的問題に即して論じていきたい。

【授業計画】

1. 近代日本外交の始まりと「脱亜入欧」外交の本質
2. 戦前期日本のアジア外交論の諸問題
3. 戦後日本外交の再出発：東西冷戦のなかの日本
4. 被爆国日本の平和外交とその世界史的意味
5. 日本のアジア外交の功罪について
6. 中国・朝鮮半島との外交と歴史問題
7. 中国外交における日本の位置づけの変容
8. 日米関係の進展と日本外交の諸問題
9. アメリカのアジア外交における日本の位置
10. 日本の安全保障政策と沖縄問題
11. 冷戦後の日本外交と「国際貢献論」の登場
12. アジアのなかの日本・日本のなかのアジア
13. グローバル化時代の日本外交
14. 日本外交の理念と国民の外交認識
15. 今後の日本外交の課題と展望

【評価方法】

毎回の授業内容と議論についての小レポートの提出を課するとともに、教員と受講者の相互討論などを加味して総合的に評価する。

《テキスト》

特に指定しない。

《参考書》

授業時に適宜指示する。